

# 民主化闘争情報

825

2011年5月20日  
発行 日本鉄道労働組合連合会  
(JR連合)

5月20日、JR総連・JR貨物労連傘下の日本フレートライナー労働組合から脱退した組合員51名が、新たに日本フレートライナーユニオン(FLユニオン)を結成するとともに、JR連合への加盟申請を行った。

## 日本フレートライナーユニオン結成!

—JR貨物グループで民主的労働運動が胎動!—

FLユニオンの結成大会は、5月20日14時からTKP田町カンファレンスセンターにおいて開催された。冒頭、結成準備会を代表して杉山準備委員長が挨拶を行い、「新組合結成の目的は、安心して働ける職場と会社創りにある。個人に対する中傷や攻撃を行う非民主的な組合とは訣別した。私達は、経営側と対立するつもりはない。労働組合として雇用の確保と労働条件の向上に努めていく」と述べ、FLユニオン結成の意義を訴えた。

来賓として出席した貨物鉄産労の山崎委員長は、「結成を心から歓迎する。FL会社は債務超過に陥寸前の厳しい状況にある。もし、債務超過になったらJALのような徹底したリストラが始まるだろう。このような状況になるまでFL労組は、これまで何をしていたのか。FLユニオンは会社と経営問題について、しっかりと議論していくべきだ。組合員、会社のことを真剣に考えているのはFLユニオンだと訴えていって欲しい。当たり前前の運動を皆さんがしていけば、必ず会社を再建することができる」と挨拶し、FLユニオンへの大いなる期待を語った。

続いて議事に入り、第1号議案から第4号議案まで一括して提案が行われ、満場一致で議案が承認された後、選出された役員がそれぞれ自己紹介を行うとともに、代表して杉山委員長が「新組合を結成し感慨無量である。今後は身を粉にしてFLユニオン発展のために活動していく」と力強い決意表明を行った。

山崎委員長から杉山委員長に組合旗が贈呈された後、「FLユニオンは、労働組合運動の原則に則り、労働者の権利を守り、労働条件の改善をめざしていく。そして、組合員の団結を基礎にし、労働組合として正当な発言権を貫き、正しいと思うことを自由に語ることでできる民主的な職場、組合活動を創っていく。全組合員が組合綱領を基礎とする活動方針に基づき、様々な組合活動に主体的に参画し、『かけがえのない会社』『なくてはならない会社』を創りあげ、『組合員や家族の幸せ実現』にむけ邁進しよう!」とする大会宣言を全体で確認し、最後に杉山委員長の団結ガンバローで結成大会は終了した。

FLユニオンの結成は、JR総連内における民主的労働運動の萌芽であり、今後のJR貨物グループの労使関係に影響を及ぼしていくことは必至である。

FLユニオンは、結成後、ただちに会社に対して労働協約の締結申し入れを行うなど、労働組合としての活動を開始するとともに、さらなる組織拡大の取り組みを展開することになっている。

また、貨物鉄産労とFLユニオンは、同日、JR貨物グループ労働組合連合会(JR貨物連合)の結成大会を行い、山崎俊実会長(貨物鉄産労)、杉山祥一副会長(FLユニオン)、大杉正美事務局長(貨物鉄産労)、伊崎文雄事務局次長(FLユニオン)の四役体制を確立した。



## 貨物鉄産労とFLユニオンがJR貨物連合を結成!

また、貨物鉄産労とFLユニオンは、同日、JR貨物グループ労働組合連合会(JR貨物連合)の結成大会を行い、山崎俊実会長(貨物鉄産労)、杉山祥一副会長(FLユニオン)、大杉正美事務局長(貨物鉄産労)、伊崎文雄事務局次長(FLユニオン)の四役体制を確立した。